

現場名称	直江町の家 梅田様邸新築工事	監理項目「擁壁配筋検査」
作成者	川本	



[工事遠景]

擁壁の工事が始まり鉄筋の配筋を終えたとの連絡を受け  
 本日は配筋検査を行いました。  
 構造計算通りの配筋仕様となっているかを全てチェックしていきます。  
 通常、こういった擁壁の配筋はベース(底盤)部と立ち上がり部に分けて配筋し鉄筋同士を重ねて継ぐことで一体的な配筋とすることが多いですが、今回はベース部と立ち上がり部を1本で曲げた初めから一体化された配筋とすることでより頑丈な擁壁となるよう現場監督と打ち合わせをしております。



[配筋ピッチの確認]

構造計算の仕様では縦筋横筋共に200mmのピッチで配筋するよう決まっておりますので適切なピッチであることを確認させて頂きました。



[鉄筋径の確認]

ピッチの確認と併せて鉄筋の径が仕様通りかを全て目視で確認しています。  
 メジャーでの寸法確認と鉄筋に印字されている印で確認を行います。縦筋横筋は共に10mmの系、頂部と底盤の両端は13mmの鉄筋で配筋されていることを全て確認しました。



[開口補強筋の是正]

現場監督と現地で話し合い、既存の雨水桝へ接続する開口部の角については開口補強筋を斜めに追加することでクラックが起りやすい開口部に対して配慮するよう指示させて頂きました。